

見聞録

「FC EXPO 2011」見聞録

鈴木 譲

株式会社 鈴木商館 豊田事業所

〒470-0334 愛知県豊田市花本町井前 129-2

今回で7回目となるFC EXPO が2011年3月2日から3月4日まで東京ビッグサイトで開催されました。今回も例年どおり水素エネルギー協会は共催という形でFC EXPO の開催を支援いたしました。今回は併設同時開催展が昨年より更に増え、7展示会同時開催となりました。同時開催されたのは以下の展示会で、() 内に今回が何回目の開催となるかを示してあります。

- ・ PV EXPO (4回目)
- ・ PV システム EXPO (2回目)
- ・ 二次電池展 (2回目)
- ・ 量産・試作技術展 (2回目)
- ・ エコハウス&エコビルディング EXPO (1回目)
- ・ スマートグリッド EXPO (1回目)

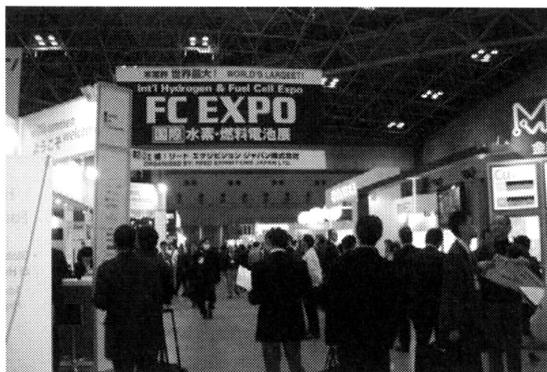


写真1. FC EXPO2011 入場口よりの会場風景

今回はFC EXPO だけで見ると出展企業は昨年より更に少なかったと思います。しかし、出展企業の何社かの方に会場ブースでお話を伺いましたところ、会場に入場しFC EXPO に来てくださる方は増えているとの事でした。更に、来場者の目的意識がはっきりしており、質問等も単なる調査で無い目的を持った質問が多いとの声を聞きました。今回同時開催の7展示会をリード エグジビション ジャパンでは新エネルギーWeek2011 としております。その合計入場者数は3日間で90,011人と公

式発表されています。同時開催展示会数も昨年の5展示から7展示と増えておりますので、一概に単純比較は出来ませんが、昨年の展示会総入場者数を1万人も上回る盛況ぶりであった事は疑う余地がありません。

今回も外国の出展パビリオンはアメリカ、カナダ、台湾、ドイツ、フィンランド、フランスと多数ありました。また、中国企業からの出展もありました。中国企業は水素化物加水分解による水素発生装置付 PEM 発電装置などを展示し、大勢のスタッフが説明にあたっている姿が印象に残りました。

日本語、英語での質問にも答えられるスタッフが親切に対応していました。写真2のものはアウトプットがAC110/220V または、DC12V で400W/hの製品だそうです。



写真2. 中国 JSPower の JS400W

フィンランドパビリオンのバルチラ・コーポレーションは船舶用燃料電池などを手がけている旨のプレゼンを行っていました。

昨年同様今回もテレビコマーシャルでも頻繁に流されすっかり国民のほとんどのに浸透した家庭用燃料電池システム「エネファーム」が大々的に展示されており多くの人が展示ブースに集まっていました。

2015年が近づくにつれ燃料電池自動車への関心もま

すます高まりを見せているようです。水素・燃料電池実証プロジェクト（JHFC）の展示ブースには多くのメーカーの燃料電池車が展示され多くの見学者を集めていました。燃料電池車の構造、内部が分かるように左半分をカットした車両の前には大勢の人が集まっていた。



写真3. JX日鉱日石エネルギー（株）ブースの
エネファーム展示



写真4. JHFCブースの燃料電池車カットモデル

国内メーカーのブースでは燃料電池用の部材であるとか、EVやHV用の機能部材を開発製作し展示しているところもありました。燃料電池用には、金属セパレータであるとか、EVやHV用には駆動用パワー半導体IGBT(Insulated Gate Bipolar Transistor)用のセラミックヒートシンクなどがありました。燃料電池本体と言うよりも、目立たないが不可欠な部材専門メーカーを目指すような企業が出てくると言う事は燃料電池ビジネスも本物に一步近づいた感があります。

もう一つのFC EXPO恒例の呼びものとして講演、セミナーなどがあります。今回は3/2に基調講演として3講演があり、3/3には新エネルギーWeek特別基調講演として内閣官房、和泉洋人氏の講演がありました。専門技術セミナーは10コース30ものセミナーが実施され盛況でした。



写真5. (株)アテクトブースに展示の
IGBT用セラミックヒートシンク

今回も水素エネルギー協会は出展ブースをFC EXPO会場のJHFCブース前と言う人の集まる好位置に確保していただきました。展示物は運営組織説明パネル、出版物紹介、協会説明パンフレットの配布などと例年と変わりはないのですが、今回は2010-2011年度版の新しい水素エネルギー協会パンフレットをご興味を持たれた方々に配布致しました。パンフレットの内容はエネルギー・環境問題と水素技術開発の歴史、協会の歴史、設立趣意から幅広い活動分野への取り組みや活動実績の紹介がされており会員・組織も明示してあり大変に分かりやすいものとなっております。今回JHFC前と言う場所の利もありましたが、協会パンフレットを持ち帰られた方は非常にたくさんいらっしゃいました。今後水素エネルギー協会はますます、その機能、役割が重要なものとなる事と思います。



写真6. 水素エネルギー協会ブース

今回のFC EXPO開催から遅れる事1週間2011年3月11日に東日本大震災が発生致しました。多くの方々が津波、地震で尊い命を亡くされました事は大変に悲しい事であります。亡くなられた方および遺族の方々には心よりお悔やみを申し上げます。